

小学部



幼稚部



無花果

学習発表会

「Be together as one
～心をひとつに～」

高等部



中学部



No.184
令和2年12月25日発行
発行 秋田県立聴覚支援学校
秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

「よさ」はなんだろう

教頭 松井智子



「毎日笑顔です。私たちもそれを見ると、楽しい気持ちになります。」これは、小学部の児童が、他の人のよいところを道徳で取り上げたときに書いたものです。教室の入口には、友達の長所を書いたカードが何枚も掲示されています。「ちよつとしたことでも、すぐに笑顔でありがとうのしゅわをしてくれるところがすてきだと思います。」先生たちが見つけた一人一人のよいところも一緒に貼られています。よいところ、よさに秘められている前向きなパワー。元気が湧いてきます。

学校の「よさ」は、なんだろう。コロナ禍のときだからこそ、よさについて改めて考えてみました。様々な経験ができること。多くの出会いがあること。未来につながる学びができること。感情、感動を共有できること。仲間と声を掛け合い、友と笑い合えること。コロナ禍を経験したことで、より一層実感できます。

毎年行われる学習発表会は、学校や子どもたちのよさを大いに発揮できる機会です。仲間と協力し合いながら一人一人が役割を果たし、心を一つにできる舞台。残念ながら今年は多くの方に見ていただくことはできませんでしたが、各学部とも充実したすばらしい発表でした。高等部の生徒は、自分たちが考えた振付のダンスを完璧に踊り切り、ピタリと息の合った動きを披露。満足感や達成感をみんなが共有することができました。まさに学校ならではのよさ、一体感を味わうことができたのではないのでしょうか。

「学校は子どもが自分の好きを見つけ、好きに挑む場所である」。これからの聴覚支援学校に大事なこととして、先日参加した講演会で印象深いお話がありました。様々な制限は続いています。子どもたちが自分の好きやよさを見つけ出し、そして互いのよさを認め伸ばし合える学校でありたいと思います。聴覚支援学校のよさを多くの皆様にお届けできるよう、これからも心を一つにして取り組んでいきたいと思っています。

幼稚園部

『はらぺこあおむし』だいせいこう！

大山 万里子



幼稚園の今年のステージ発表は、みんなが大好きな『はらぺこあおむし』。よく知っているお話だけに、練習を重ねる中で、「食べ過ぎてお腹が痛くなったら、ボタンつて倒れようよ。」「チョウチョの羽って背中を揺らすとパタパタ動くんだよ。」「ダンスでクルクル回るとき、速く回ると楽しいよ。」など、子どもたちからたくさんアイディアが生まれました。そのおかげで、本番はあおむしになりきった子どもたちの元気

中学部

『中学部春夏秋冬〜全速力で〜』

中野 あかね



今年度は生徒だけではなく、先生たちも一緒にステージに立ち、文字通り中学部全員で力を合わせてステージ発表を作り上げました。英文の台詞や身振り、ギター演奏、カラーガード・・・覚えることはたくさんありましたが、練習を重ねるごとに、どんどん表現が豊かになっていく生徒の姿に成長を感じました。振り返りでは、生徒から「台詞を暗記して観客に伝わる声で話せた。カラーガードでは三人で動きを合わせて発表できた。」という達成感に満ちた感想が聞かれました。

小学部

『小学部のなままずかん』

加藤 深湖



今年の小学部のステージには、小学部の仲間を紹介した大きな図鑑が登場しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な学校行事や学習内容が中止、変更、縮小となり、我慢することも多かった今年。「楽しみは、コロナウイルスがなくなると、日常に戻って、楽しく過ごす」と短歌に思いを込め、全員で心一つにして学習の成果を披露しました。本番を終えた児童の感想の一部を紹介しましょう。「学習発表会で、セリフを頑張りました。ゆっくり大きな声で話しました。」「ぼくは歌を頑張りました。お母さんが喜んでくれました。」「劇の中でも心に残ったところは、書きの場面で。私が作った短歌が学習発表会で出せることがとても嬉しかったです。」



高等部

『キャッチボール』

川村 雅子



高等部は、生徒自身も課題意識をもっていったSNSによるトラブルを題材にしました。まだ暑い中、台本を読み状況や心情について考えるとところから始まり「びっくりした動きはどうすればいいか。」「ここで疑問から怒りに変わったことをどう表すか。」「など、生徒と職員が共に話し合いながら作り上げていきました。本番終了後「大切なことは思いやりだと観客に伝えられた。」「気持ちを表すような演技ができた。」「という達成感や「相手の気持ちを考えて言葉遣いに気を付けたい。」という前向きな感想が生徒から挙げられ、爽やかな学習発表会となりました。

児童生徒会 強い団結力

生徒会会長 高等部三年 鈴木 里桜

今年のフィナーレは、全校の幼児児童生徒で「前向き体操」を踊りました。練習は昼休みに集まって動きを確認したり、友達同士で教え合ったりするなど工夫しながら進めました。本番は、事前に撮った動画をお客様に見てもらいました。例年とは違う形となりましたが、幼児部、小学部生のほんわかした雰囲気を感じることができたし、高等部生のキラのあるダンスを披露することもできて嬉しかったです。みんなで協力をして強い団結力を発揮したフィナーレは、私の最高の思い出になりました。



学部の行事コーナー

幼稚園部

どうぶつえんにしゅっぱつ！

神 美穂子

十月二十七日、秋晴れの下、みんなが楽しみにしていた遠足に出かけました。お母さんたちが作ってくれたしおりを見ながら、どんな動物に会えるかわくわくいっぱいの子どもたち。フラミンゴが目の前をゆったりと歩く姿や、ペンギンが飛ぶように泳ぎ回る姿に、「わあー」「すーごーいー！」「しおりについてるよー！」と歓声を上げながらくぎ付けになっていました。

学校に戻ってきてからは、待ちに待ったお弁当の時間。食後は「とりかえっこしよう！」と友達や先生とおやつの交換もしました。お楽しみいっぱい、笑顔いっぱいの日になりました。



小学部

秋の校外学習

大森山動物園にレッツゴー！

齊藤 徹

九月二十四日に小学部一年生から六年生までの八名で、大森山動物園に行ってきました。今年度は、コロナウイルス感染症対策として、一学期の校外学習は全て中止となり、今回が全校でも最初の校外学習となりました。当日は天気が心配されましたが、子どもたちのパワーで晴天となり、それぞれ楽しみにしていた動物たちをじっくり観察することができました。低学年はアソヴェの森の遊具も楽しみの一つで、

ネットの橋やローラー滑り台を楽しんでいました。高学年からは、キリンの角に注目した感想が聞かれるなど、充実した校外学習となりました。



中学部

下北手中学校体育祭に参加して

鈴木 亜希子

下北手中学校との交流は八年目を迎えました。「昨年のことをよく覚えています！」「〇〇君と筆談してもいいですか？」嬉しそうに話してくれたのは、下北手中学校の生徒たちでした。競技の合間の時間を利用して、お互いに聞きたいことを紙に書き合い、会話が弾みました。ソフトバレーボール競技の準備では、下北手中学校の生徒と協力してボールを運んだり、ネットを張ったりしました。

言葉と身振りだけで一生懸命伝え合う姿から、同世代交流の大切さと、そこに関わる人々の温かさが感じられました。



高等部

第二回目 暗唱発表会

赤平 成美

高等部では、正しい日本語や豊かな手話表現を習得すること、他者の発表を聞いて評価し、自分の発表を振り返ることを目的として暗唱発表会を実施しています。二回目の発表会は、九月十一日に行われました。今回の発表者である八名のうちの四名は一年生で、今回が初めての発表会でした。全員緊張した表情を見せながらも、聴き手に伝わるよう、はっきりとした声や堂々とした姿勢、工夫を凝らした手話表現で暗唱することができました。三回目の暗唱発表会の際には、課題文を熟読した上で、発表技術や手話表現の向上のために練習に取り組むことを期待しています。



寄宿舎

合同余暇活動「SIT」

伊藤 葵

視覚支援学校寄宿舎と行う合同余暇活動は、生徒が楽しみにしている活動の一つです。今年度は二回、SIT（サウンドテーブルテニス）を行いました。SITは視覚障害のある人向けの卓球で、音の鳴るボールを打ち合い、点数を競います。

事前に両校の代表生徒が集まって話し合い、準備を進めてきました。当日は二グループに分かれて対戦しました。はじめはお互いに遠慮がちだった生徒も、ルールを教えてもらったりプレイをたたえ合ったりして意気投合していました。終了後も「またやりたいね。」と話が弾み、親睦を深めるよい機会となりました。



支援部

難聴児童交流会

泉 拓行

今年度は、例年と異なり、県北、中央、県南の各地区毎の実施となりました。十月二十九日の「南の交流会」には児童七名、十一月十四日の「中央地区の交流会」には、本校児童四名を含む十三名、「北の交流会」には五名が集まり、風船リレーや○×クイズなどで交流しました。

初めて参加する人もいて、最初は緊張していたものの、体を動かしたり、クイズで好きなことの紹介をしたりして、いなるうちに笑顔が増えて、交流活動を楽しんでる様子が見られました。保護者会では、情報交換や意見交換をしたりして有意義な時間になりました。



小学部修学旅行

ようやく行けた修学旅行

佐々木 寿子

一泊二日の日程で横手・湯沢・仙北へ修学旅行に行ってきました。コロナ禍で日程も延期し、行き先を県内に変更しての旅でしたが、幸い二日間とも好天に恵まれ、楽しみながら学習に向かう姿が見られました。「本物のかまくらに入りました。マインナス十度で、とても寒かったです。」「クニマスを見て、嬉しかったです。」「佐藤養助商店でうどんを作る体験をしました。うどんを素早くうこができました。」『上手だね』と褒められて嬉しくなりました。

「コロナの年の修学旅行」として心に残る修学旅行になったことでしょうか。この思い出をずっと大切にしたいと思います。



ニュース・トピックス

◎令和2年度明るい選挙啓発ポスターコンクール
入選 高等部一年 佐々木岳志

◎第五十三回秋田県高等学校総合美術展
推奨 高等部一年 畠山 陽稀
入賞 高等部一年 佐々木岳志
入賞 高等部一年 長門 里紗
入賞 高等部一年 藤原 心華
入賞 高等部二年 松本 拓己
入賞 高等部三年 小玉 彪雅

◎第十八回わくわく美術展
入選 小学部六年 佐々木琉加
入選 小学部六年 中島 琴音
入選 高等部二年 松本 拓己

◎令和2年度みんなの写真展
優秀賞 高等部一年 藤原 心華
佳作 小学部二年 高橋 卓弥
入選 高等部一年 長門 里紗
◎第十二回秋田工芸展
入選 高等部三年 鈴木 里桜

◎令和2年度秋田県障害者芸術福祉展
奨励賞 小学部六年 佐々木琉加

編集後記

二学期は、感染予防に配慮しながら、学習発表会や修学旅行などの大きな行事を行うことができました。寒い冬を迎えますが、健康・安全に気をつけて、よいお年をお迎えください。